

東証第2部 証券コード4323

開催日：2015年12月4日



Finding the right solution, just for you

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1. 業績ハイライト	P - 0 3
------------	---------

2. JASTグループの概要	P - 0 6
----------------	---------

3. JASTグループの特長	P - 0 8
----------------	---------

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析	P - 1 8
------------------------	---------

5. 2016年3月期の計画	P - 3 0
----------------	---------

6. 中長期経営計画	P - 3 8
------------	---------

1. 業績ハイライト

1 - 1. 連結業績

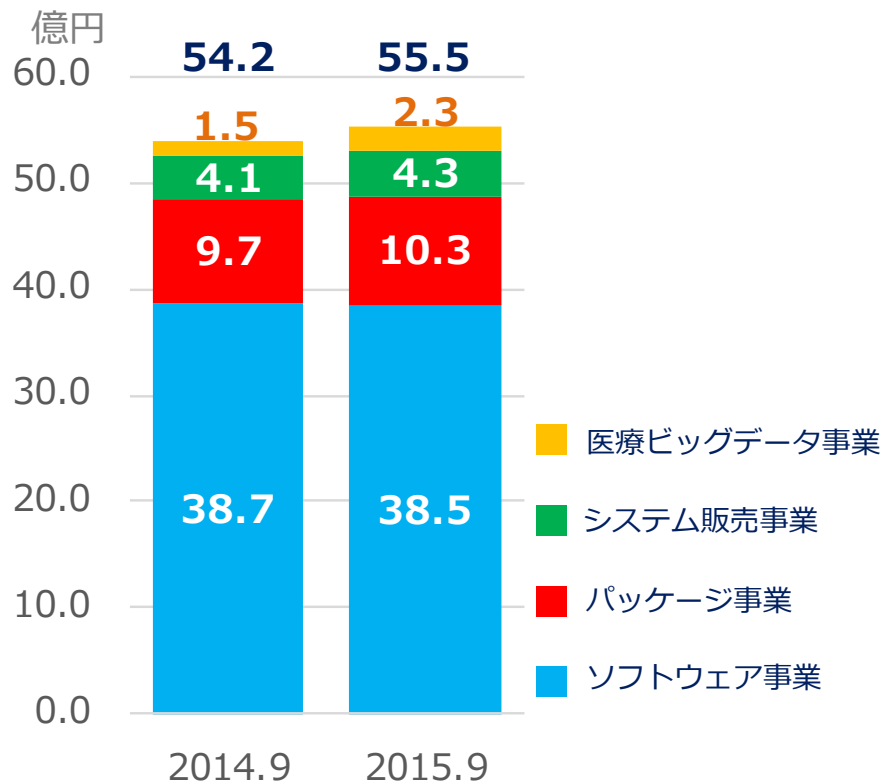
		2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	2016年3月期 2Q累計実績	前年比
売上高	(百万円)	5,007	5,424	5,558	102%
売上総利益	(百万円)	869 17.4%	1,052 19.4%	1,117 20.1%	106%
営業利益	(百万円)	▲13 -0.3%	78 1.4%	34 0.6%	44%
経常利益	(百万円)	21 0.4%	114 2.1%	53 1.0%	46%
四半期純利益	(百万円)	▲14 -0.3%	60 1.1%	42 0.8%	70%
一株当たり四半期純利益	(円)	▲3.08	11.51	8.05	70%
総資産	(百万円)	4,405	5,163	5,262	102%
純資産	(百万円)	7,597	8,617	9,159	106%
自己資本比率	(%)	57.1	59.1	56.9	▲2.2
従業員数	(人)	804	823	836	13

* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

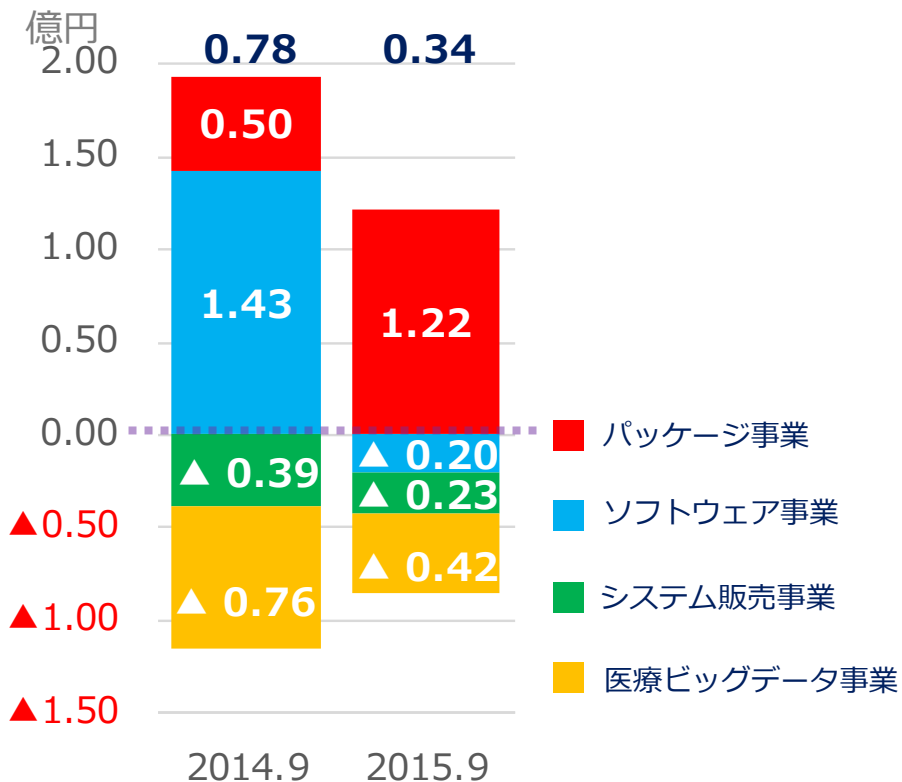
当初予想（売上55億、営業利益▲8百万、経常利益14百万、純利益2百万）を上方修正し、達成

1. 業績ハイライト 1-2. 事業別ダイジェスト

売上高



営業利益



- ◆ソフトウェア事業 : 官公庁/ 製造業/ 金融業等の案件が減少し、減収減益
- ◆パッケージ事業 : 大学向けパッケージ / 導入支援 / 運用サービスの増加で増収増益
- ◆システム販売事業 : 公共系SIが好調に推移し、増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : データ分析等のサービス拡充により増収

2015年9月 上海嘉峰信息科技有限公司を連結子会社化

- * 当社製品の中国国内における販売チャネルと保守サポートセンターとなることを目的として2014年1月設立、2015年9月に出資手続き完了。
- * まずは上海及び周辺地域へのソリューション展開の拠点とする。

GAKUENシリーズ中国輸出

- * GAKUEN Universal Passport及びGAKUEN EduTrack（e-learningシステム）が中国国内で本稼働中。

医療ビッグデータ 投資回収に向け躍進

- * 業者クラウド・データヘルス計画コンサル等のサービス拡充により2年間で売上4.5倍。
- * 先行投資による赤字を大きく縮小し、事業黒字化実現へ躍進。

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証2部 略称JAST 証券コード4323 銘柄略称「日シス技術」

設 立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2015年9月末現在〕
系 列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階
代表者	代表取締役執行役員 平林 武昭

単位：百万円

2015年3月期の業績	連結	単体
売上高	11,505	9,682
営業利益	363	374
経常利益	435	428
当期純利益	228	223
従業員数（人）	782	621

* 連結子会社7社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・中国〕

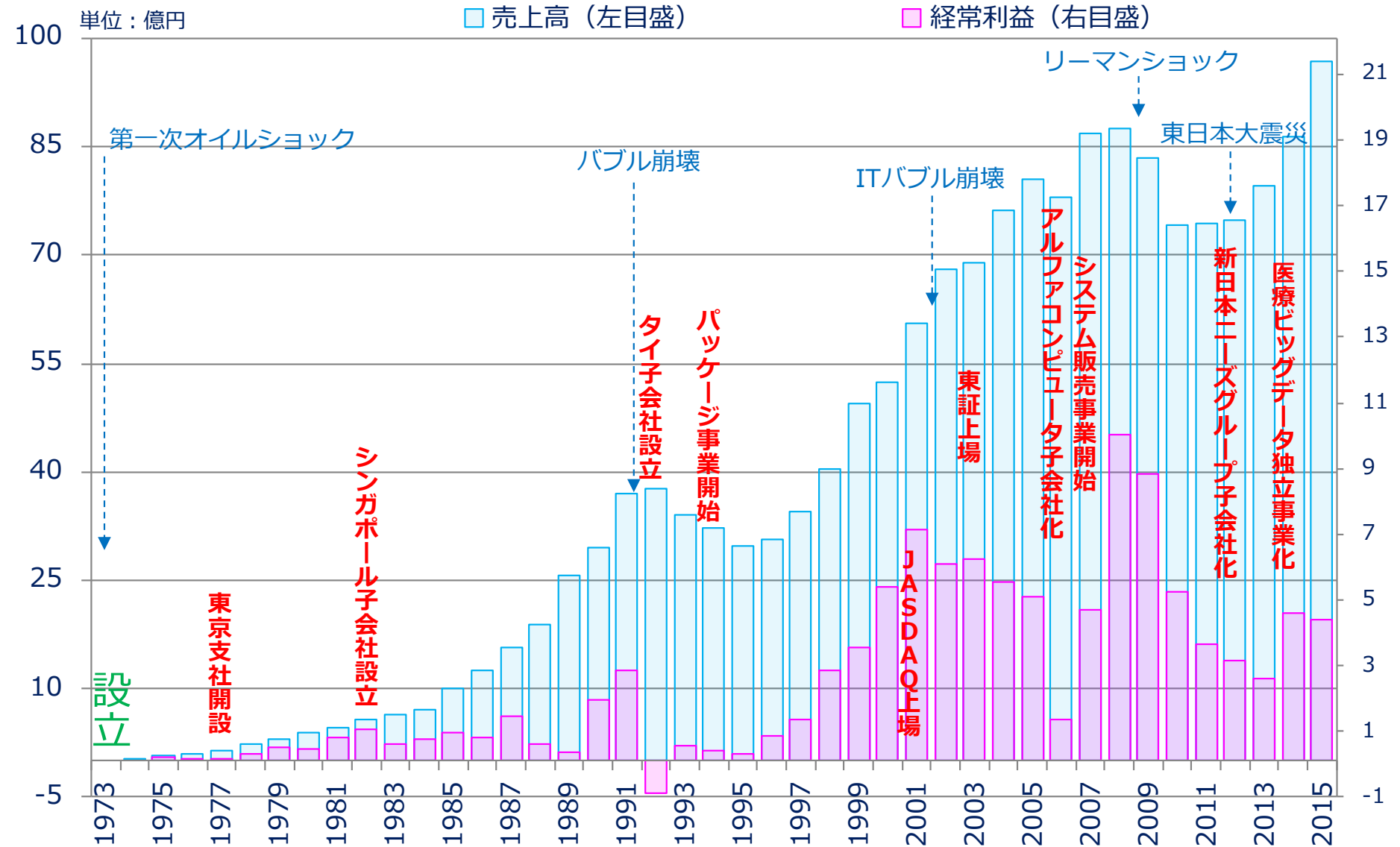
* 2015年9月末現在の従業員数（連結） 836名

各種資格

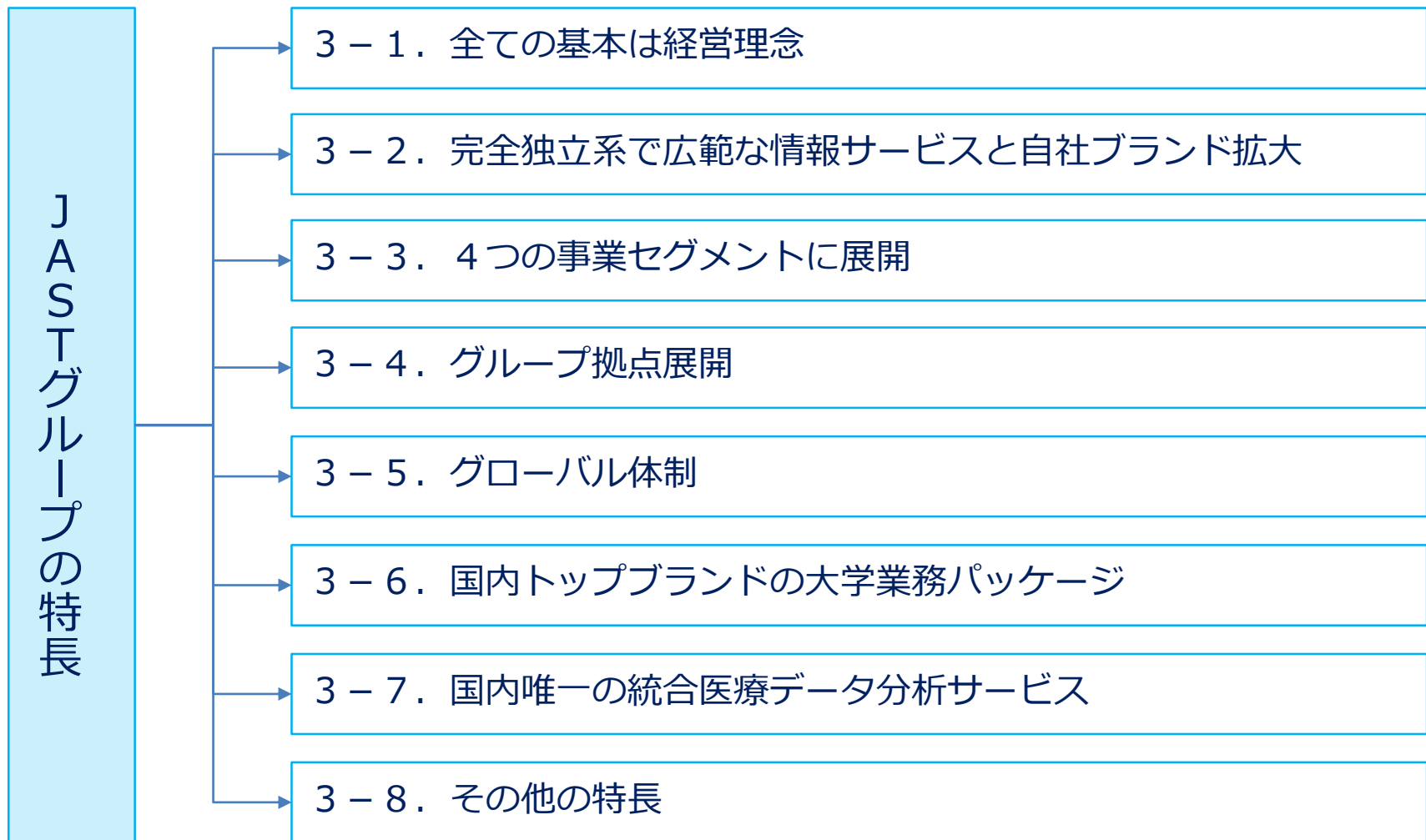
- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者



2. JASTグループの概要 2-2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



3. JASTグループの特長 3-1. 全ての基本は経営理念

「情報化の創造・提供による社会貢献」をモットーとして、いかなる企業系列にも属さない**完全独立系**の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、**自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組む**ことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、**お客様、株主、社員、社会**がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「**四方良し**」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、**安定的成長を実現する**ことを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「**人づくり**」**経営に徹する**こととしております。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスが提供可能



- ①ビジネスアプリケーション
- ②エンジニアリングアプリケーション
- ③イベントアプリケーション

戦略的・大学経営システム
開発・販売
導入支援・保守など

文教・公共系
ITインフラの構築

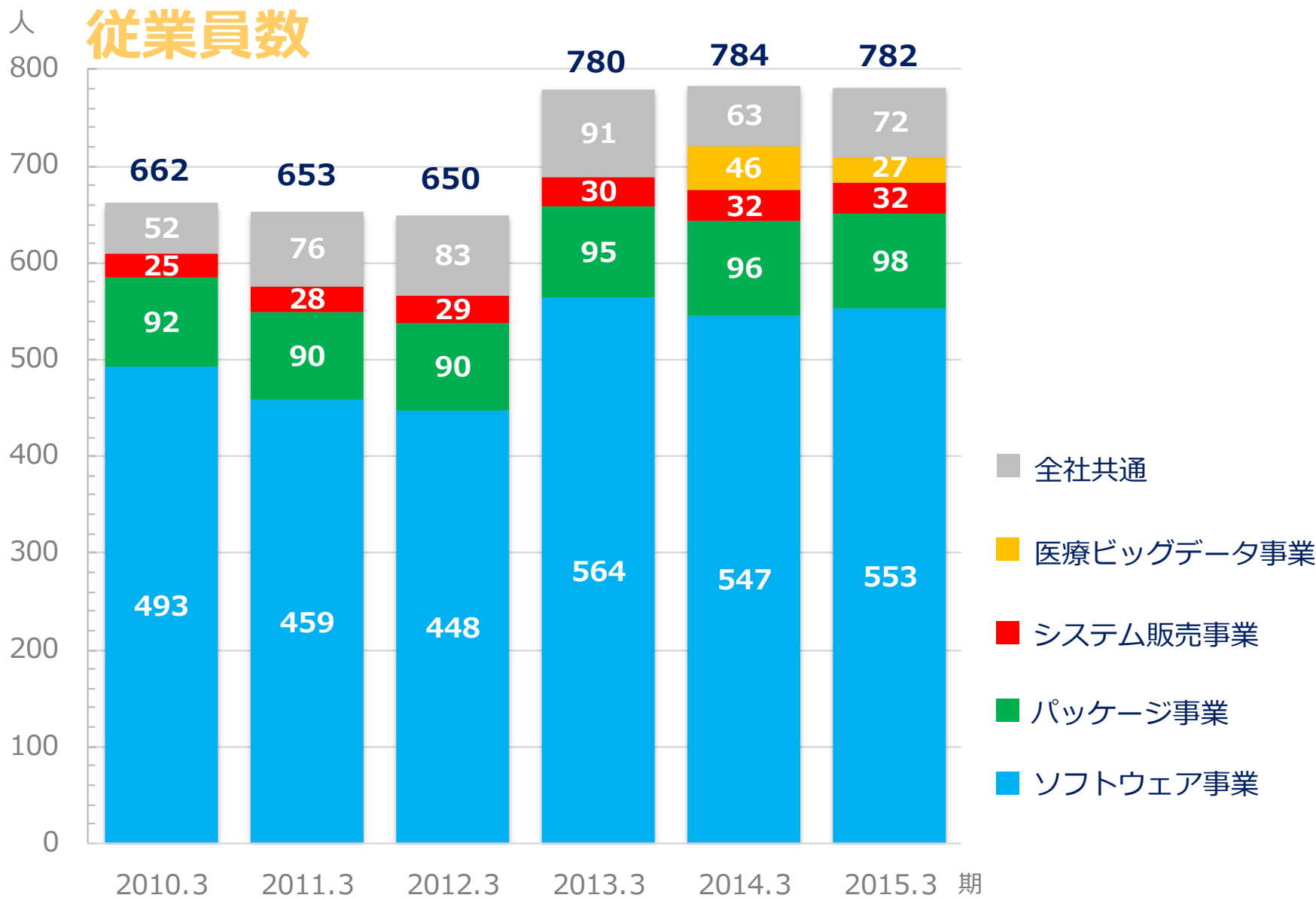
レセプト自動点検
分析・医療費通知
トータルサービス展開

多様性・共存の実現

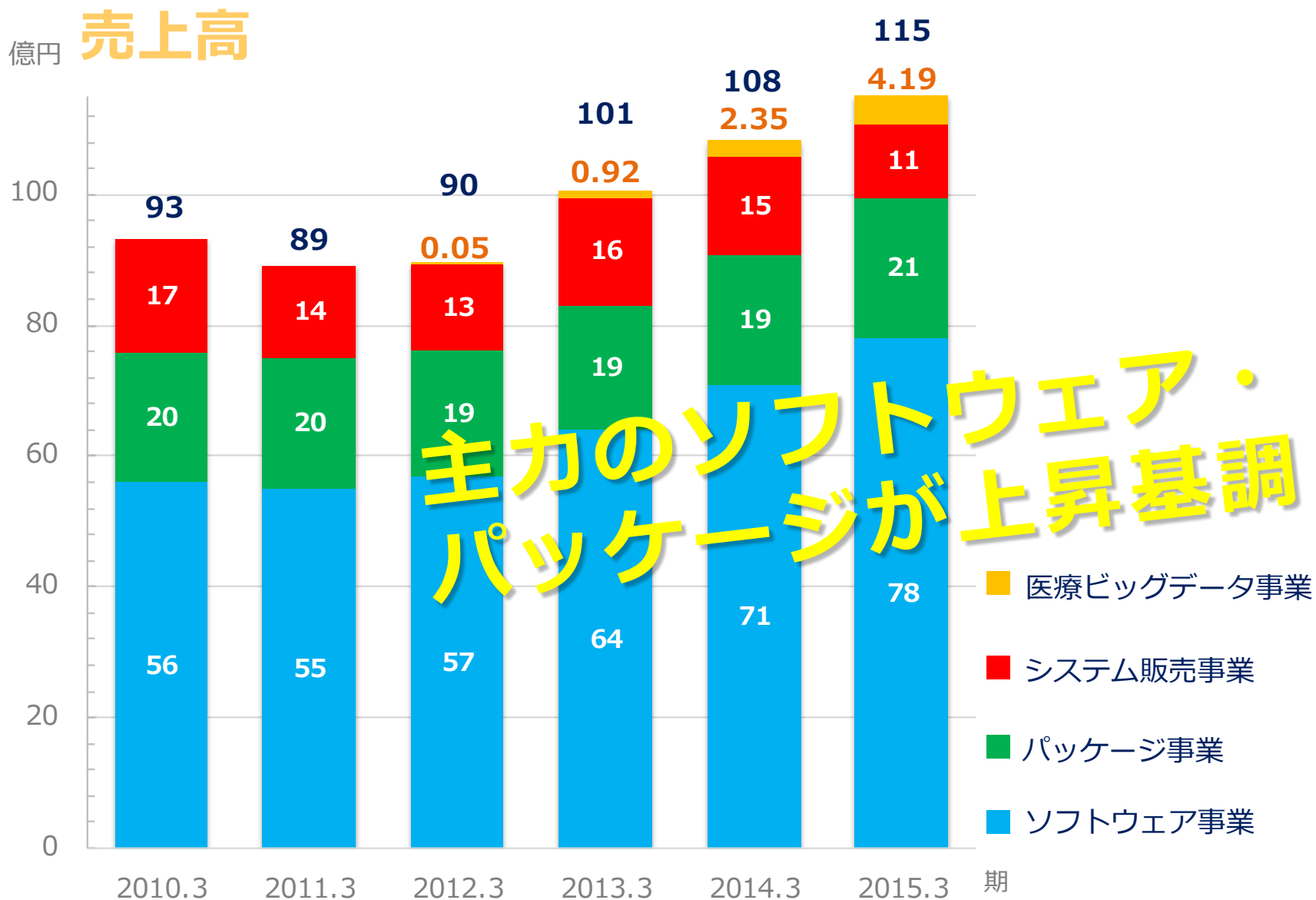
その他自社ブランドサービスの拡大

- ◆銀行向けCRMパッケージ「BankNeo」
- ◆スマートフォンアプリ群「京都禅寺巡り」
- ◆独自商流のオフショア開発ASEANネットワーク
- ◆コンサルテーション及び教育

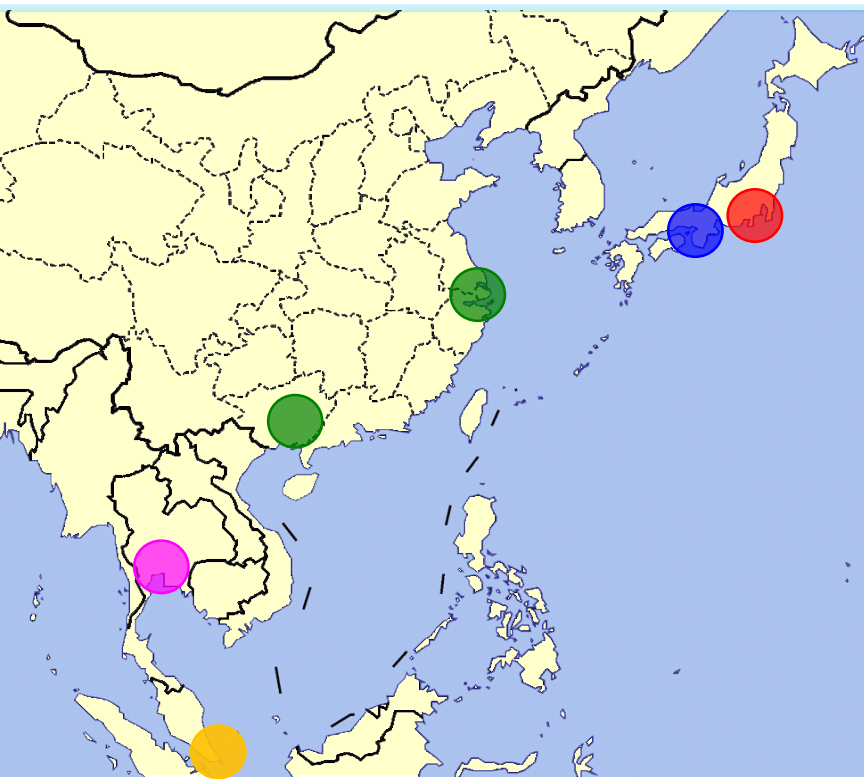
3. JASTグループの特長 3-3. 4つの事業セグメントに展開 ①



3. JASTグループの特長 3-3. 4つの事業セグメントに展開 ②



3. JASTグループの特長 3-4. グループ拠点展開



大阪本社
大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階



JAST TECHNIQUES PTE. LTD.
シンガポール ★現地日系企業向け開発



JASTEC(THAILAND) CO., LTD.
タイ バンコク ★現地日系企業向け開発



桂林安信軟件有限公司 ★オフショア開発拠点
中国広西チワン族自治区桂林市 ★中国国内拡販拠点



上海嘉峰信息科技有限公司 ★GAKUEN
中国上海市 中国販売拠点



東京本社
東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル26・27階



アルファコンピュータ株式会社
東京都品川区 ★マルチベンダITインフラ設計（システム販売）

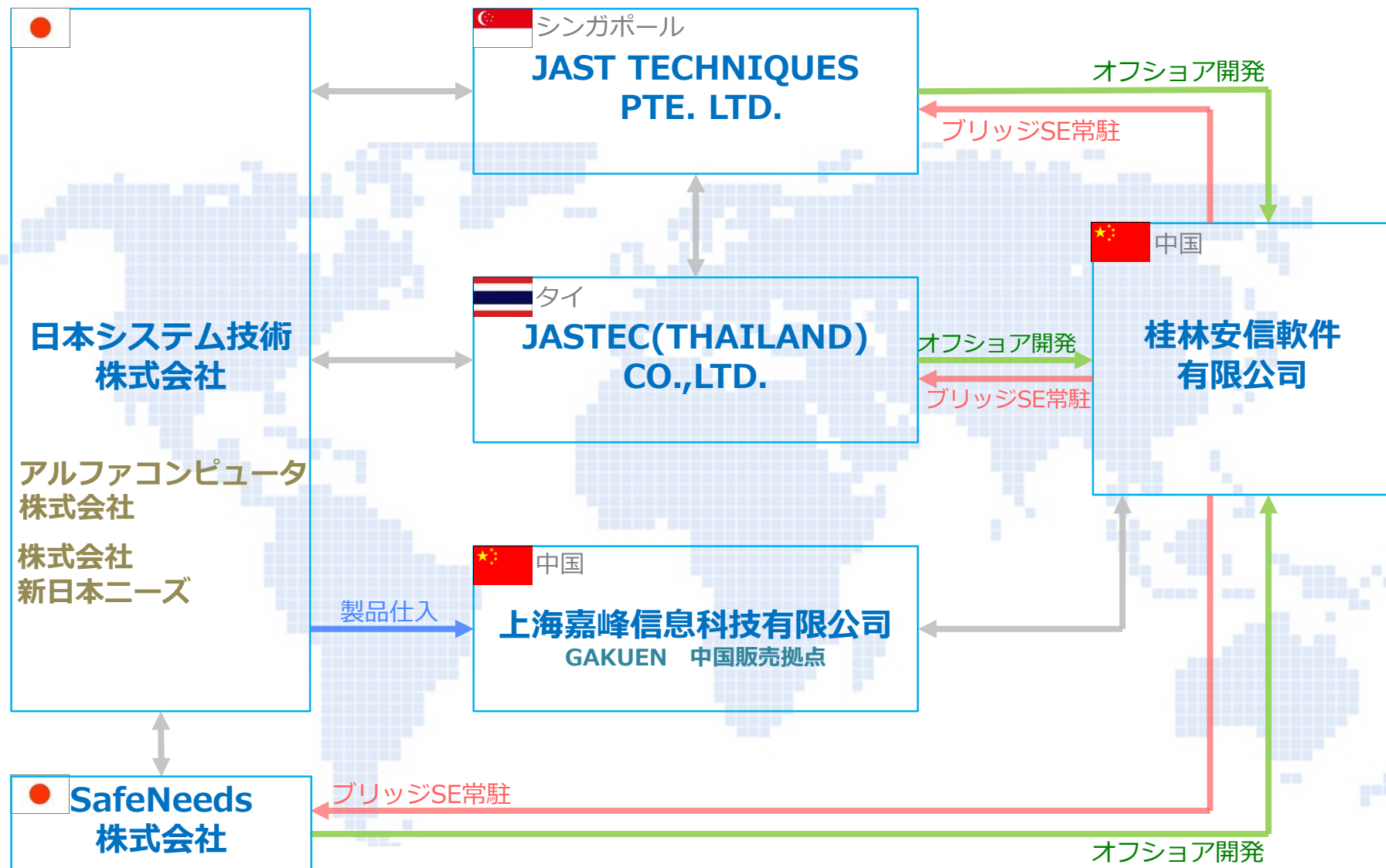


株式会社新日本ニーズ
大阪市 ★地域密着型受託開発



SafeNeeds株式会社
大阪市 ★受託開発、中国オフショア案件のブリッジ会社

グループ各社間の取引と情報交換を活性化



3. JASTグループの特長 3-6. 国内トップブランドの大学業務パッケージ

導入実績

大学：250校
短大：85校
他：18校
合計：353校

広島経済大学
比治山大学
近畿大学工学部
広島文教女子大学
ノートルダム清心女子大学
山口県立大学（公）
岡山県立大学（公）
環太平洋大学

近畿大学
甲南大学
追手門学院大学
阪南大学
兵庫県立大学（公）
大手前大学
神戸女子大学
プール学院大学
梅花女子大学
神戸女学院大学
大阪音楽大学
京都光華女子大学
薫英学園
産業技術短期大学
千里金蘭大学
平安女学院大学

東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北工業大学
岩手県立大学（公）
山形県立保健医療大学（公）
東北芸術工科大学
日本大学工学部

新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学
福井大学(国)

北海道教育大学（国）
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
成蹊大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
フェリス学院大学

聖カタリナ大学

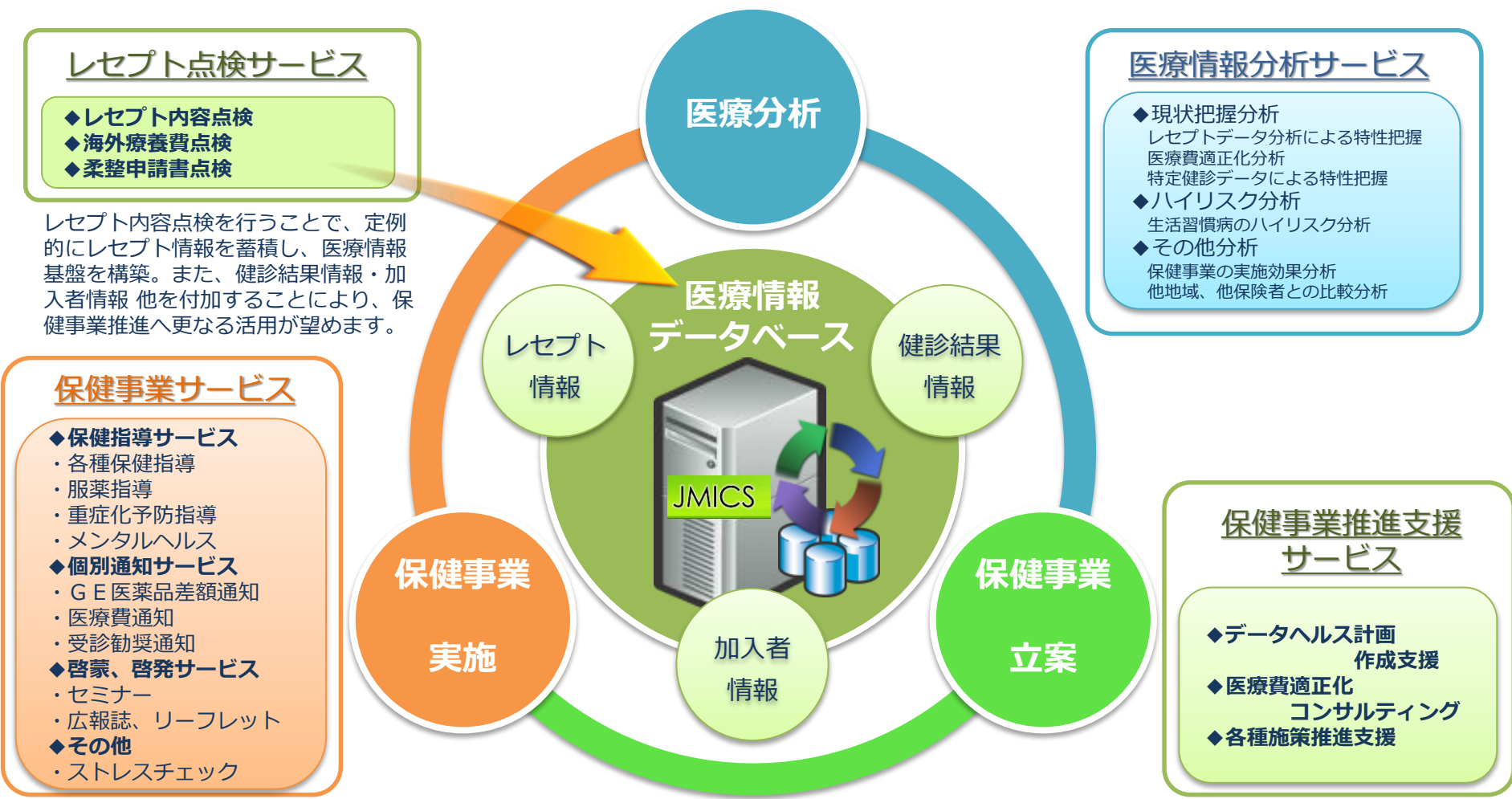
福岡工業大学
南九州大学
近畿大学産業理工学部
日本文理大学
西南女学院大学
九州国際大学

名城大学
愛知教育大学（国）
四日市大学
愛知大学
三重大学(国)
聖隷クリスティー大学
名古屋外国語大学
日本大学国際関係学部

導入実績353校

導入実績：2015年11月30日現在

JMICS JAST Medical Insurance Checking Service



長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒中心の採用と長期的な人材育成
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
低コスト体質

特徴的な営業戦術

- * ソフトウェア事業（受託開発）：
 - ・ S E自らリピート案件発掘
 - ・ 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * その他事業：
 - ・ 代理店、教育機関、官公庁、健保組合等
 - 異種カスタマ層へのマーケティング展開

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化しデータ管理
- * 個人別30分毎の売上・原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析

4－1. 連結業績の分析

4－5. 研究開発費

4－2. 事業セグメント別業績

4－6. キャッシュフローの推移

4－3. カテゴリ別業績

4－7. 株価の推移と流動施策

4－4. 貸借対照表の推移

4－8. 日経平均株価との相関

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4-1. 連結業績の分析

単位：百万円

			2014年3月			2015年3月			2016年3月			対前比	
			上期	下期		上期	下期		上期	下期	通期 予想	上期	下期
売上高			5,007	5,821	10,828	5,424	6,081	11,505	5,558		12,200	102.5%	
売上原価			4,137	4,512	8,649	4,371	4,777	9,148	4,440			101.6%	
			82.6%	77.5%	79.9%	80.6%	78.6%	79.5%	79.9%			▲0.7%	
売上総利益			869	1,309	2,178	1,052	1,304	2,356	1,117			106.2%	
			17.4%	22.5%	20.1%	19.4%	21.4%	20.5%	20.1%			0.7%	
販売費及び一般管理費			883	867	1,750	973	1,019	1,992	1,082			111.2%	
			17.6%	14.9%	16.2%	17.9%	16.8%	17.3%	19.5%			1.5%	
研究開発費			82	74	156	139	130	269	159			114.4%	
営業利益			▲13	440	427	78	285	363	34		560	—	
			▲0.3%	7.6%	3.9%	1.4%	4.7%	3.2%	0.6%		4.6%	▲0.8%	
経常利益			21	453	474	114	321	435	53		620	46.5%	
			0.4%	7.8%	4.4%	2.1%	5.3%	3.8%	1.0%		5.1%	▲1.1%	
当期純利益			-14	292	278	60	168	228	42		292	—	
			▲0.3%	5.0%	2.6%	1.1%	2.8%	2.0%	0.8%		2.4%	▲0.4%	
包括利益			—	—	311	—	—	314	—			—	

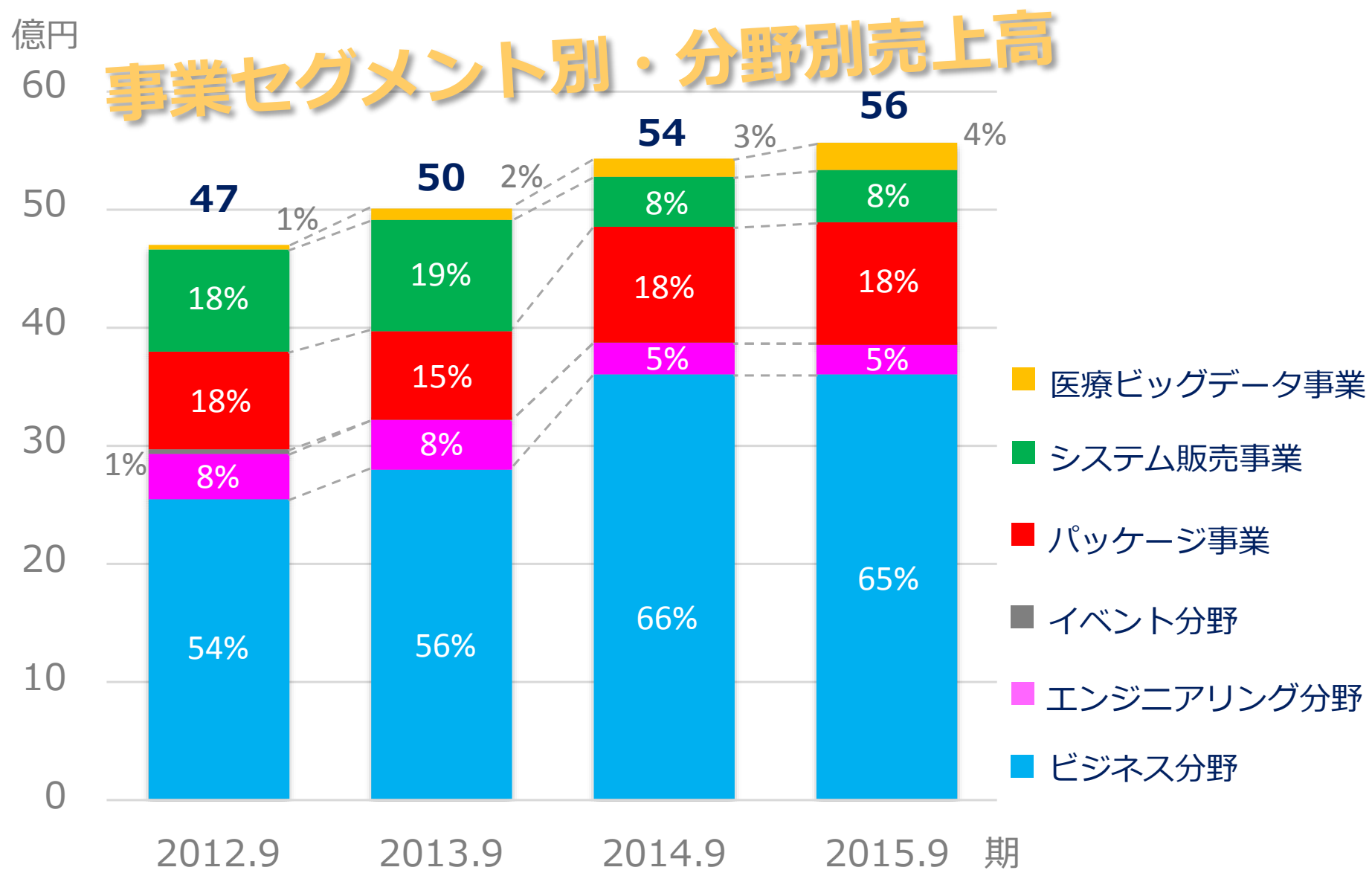
利益率が下期に回復する傾向にあり、特に第4四半期の業績貢献度が高い

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4-2. 事業セグメント別業績

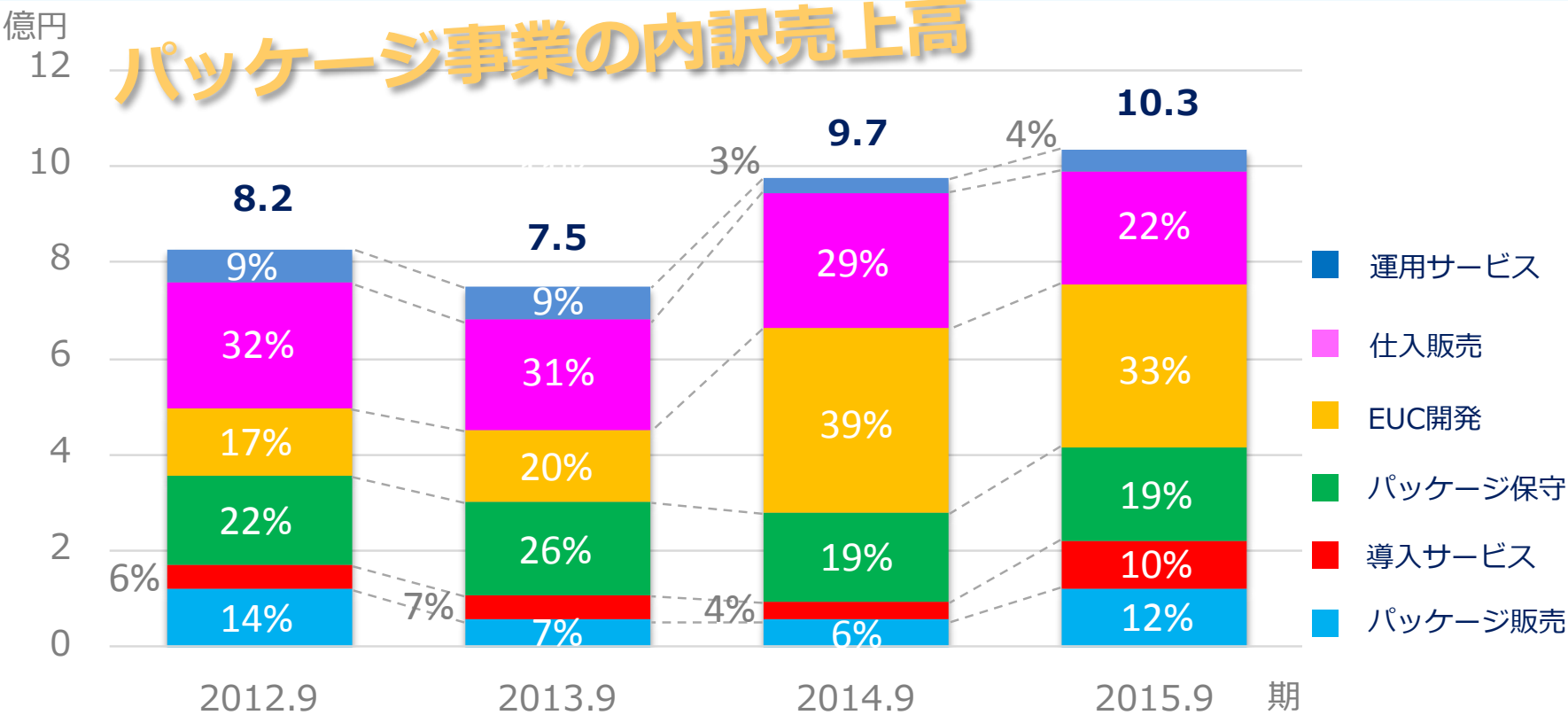
単位：百万円

		2014年3月期 2Q累計実績	2015年3月期 2Q累計実績	2016年3月期 2Q累計実績	前年比		
		構成	構成	構成	差額	比率	
JASTグループ	売上高	5,007	5,424	5,558	134	102.5%	
	営業利益	▲13	78	34	▲44	43.6%	
	ソフトウェア事業	売上高	3,219 64.3%	3,875 71.4%	3,856 69.4%	▲19	99.5%
		営業利益	26	143	▲20	▲163	—
	パッケージ事業	売上高	752 15.0%	978 18.0%	1,036 18.6%	58	105.9%
		営業利益	8	50	122	72	244.0%
	システム販売事業	売上高	931 18.6%	415 7.7%	433 7.8%	18	104.3%
		営業利益	40	▲39	▲23	16	—
	医療ビッグデータ事業	売上高	103 2.1%	155 2.9%	232 4.2%	77	149.7%
		営業利益	▲88	▲76	▲42	34	—

- ◆ソフトウェア事業 : 官公庁 / 製造業 / 金融業等の案件が減少し、減収減益
- ◆パッケージ事業 : 大学向けパッケージ / 導入支援 / 運用サービスの増加で増収増益
- ◆システム販売事業 : 公共系SIが好調に推移し、増収
- ◆医療ビッグデータ事業 : データ分析等のサービス拡充により増収

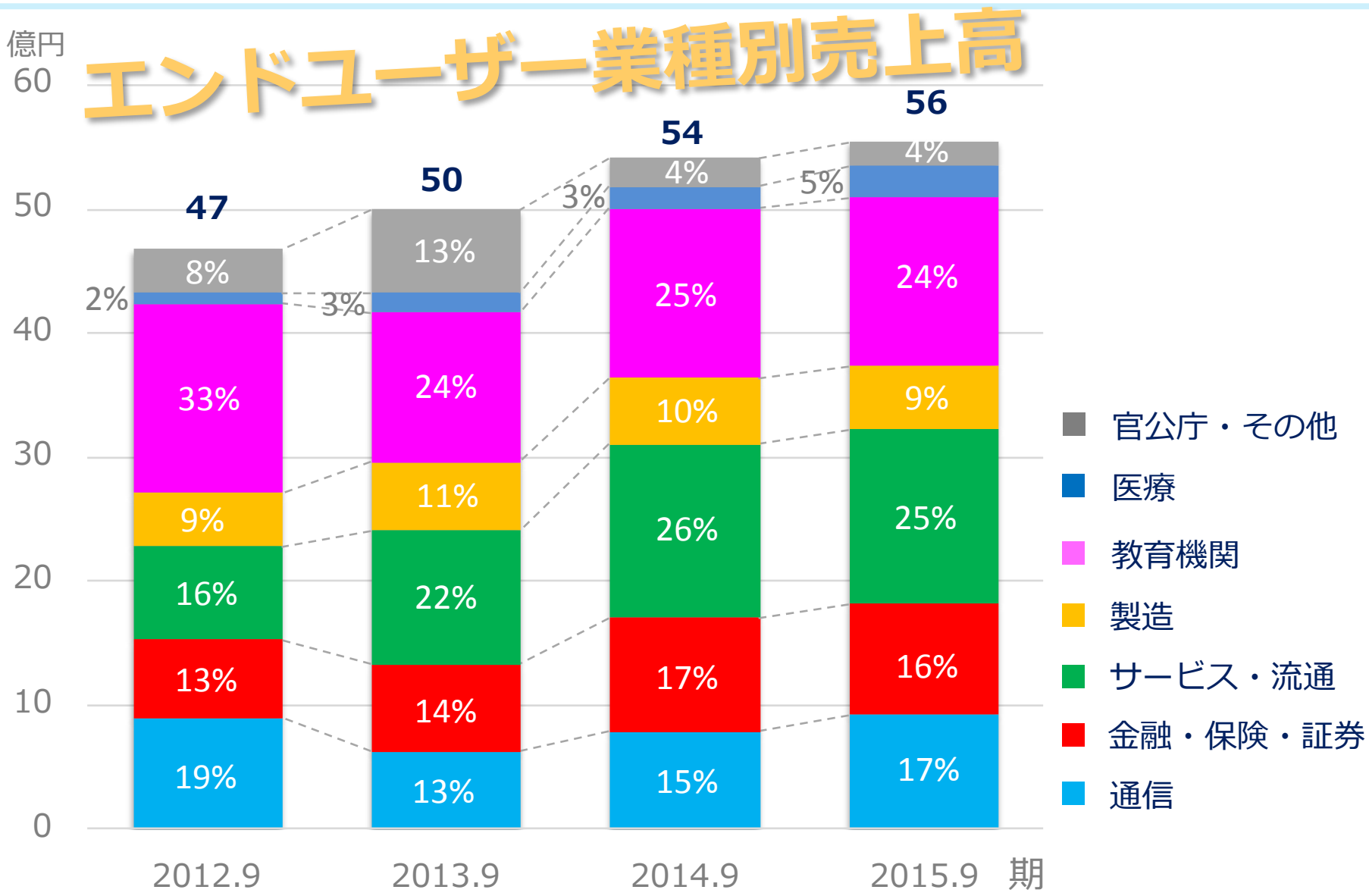


* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入サービス	パッケージの導入支援サービス収益
パッケージ保守	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
仕入販売	ハードウェア及び他社開発ソフトウェアの仕入販売収益
運用サービス	学校業務システムの運用支援に関する収益



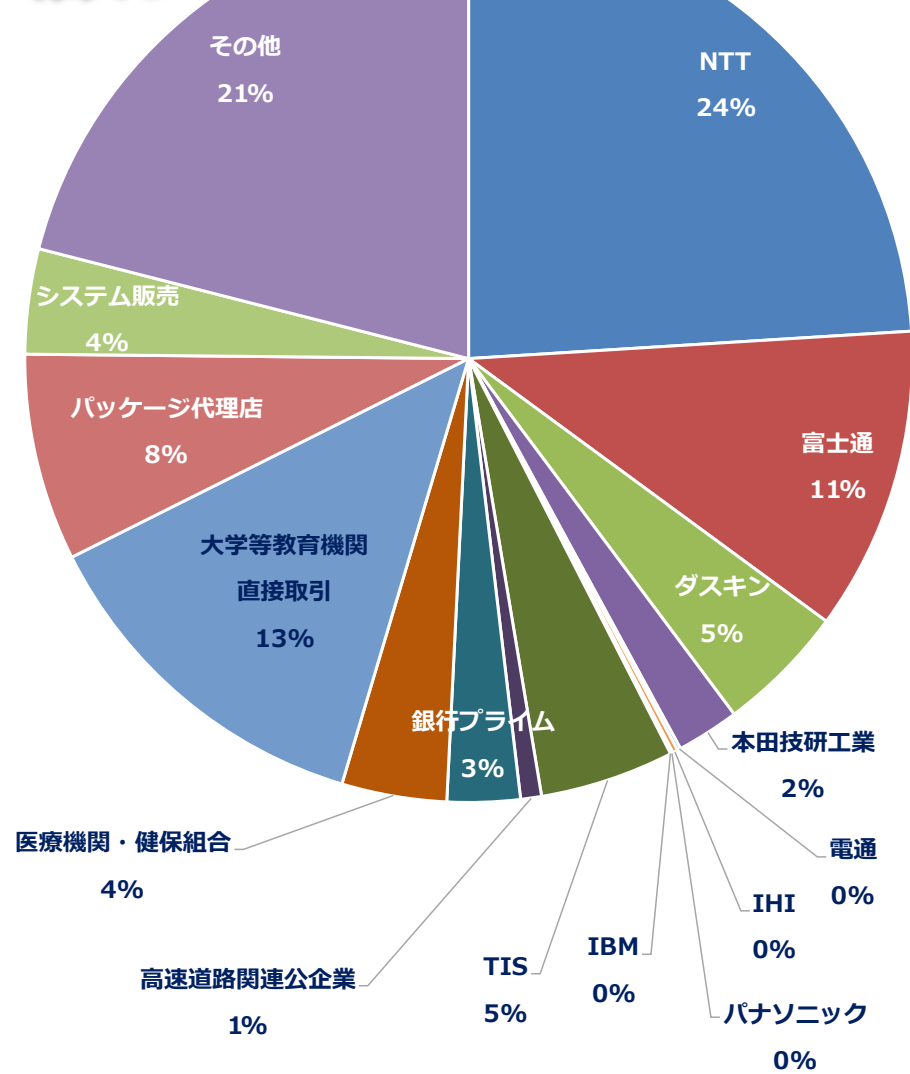
* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析

4-3. カテゴリ別業績 ④顧客グループ別売上高

顧客グループ	2014.9	2015.9
NTT	21.3%	24.0%
富士通	10.9%	11.1%
ダスキン	6.0%	4.7%
本田技研工業	2.6%	2.3%
電通	0.2%	0.1%
IHI	0.3%	0.2%
パナソニック	0.2%	0.1%
IBM	0.1%	0.0%
TIS	4.8%	4.9%
高速道路関連公企業	1.0%	0.8%
銀行プライム	4.7%	2.7%
医療機関・健保組合	2.9%	3.8%
大学等教育機関直接取引	13.1%	13.0%
パッケージ代理店	6.2%	7.5%
システム販売	4.3%	3.8%
その他	21.6%	21.0%

顧客グループ別売上高



4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4 - 4. 貸借対照表の推移

単位：百万円

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2015年 9月期	前期末比	
					差額	比率
資産	8,050	8,817	8,717	9,159	442	105%
流動資産	6,131	6,563	6,200	6,671	471	108%
有形固定資産	556	504	582	558	▲24	96%
無形固定資産	61	130	174	157	▲17	90%
投資その他の資産	1,301	1,618	1,760	1,771	11	101%
負債純資産合計	8,050	8,817	8,717	9,159	442	105%
負債	3,560	3,750	3,284	3,897	613	119%
流動負債	2,194	2,364	2,026	2,609	583	129%
固定負債	1,365	1,386	1,258	1,287	29	102%
純資産	4,489	5,066	5,433	5,262	▲171	97%
株主資本	4,409	4,863	5,148	5,019	▲129	97%
資本金	924	1,071	1,076	1,076	0	100%
資本剰余金	885	1,033	1,038	998	▲40	96%
利益剰余金	2,865	3,025	3,299	3,210	▲89	97%
自己株式	▲266	▲266	▲266	▲266	0	100%
その他の包括利益累計額	19	128	204	187	▲17	92%
新株予約権	1	0.5	—	—	—	—
少数株主持持分	59	73	79	54	▲25	68%

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4－5. 研究開発費

単位：百万円

	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	前年比	
					差額	比率
研究開発費の合計	246	176	156	269	113	172%
ソフトウェア事業	67	59	56	62	6	111%
パッケージ事業	24	19	99	206	107	208%
医療ビッグデータ事業	148	95	1	0	▲1	—
その他	5	0	0	0	0	—

BankNeo
相続機能の開発
マルチデバイス対応

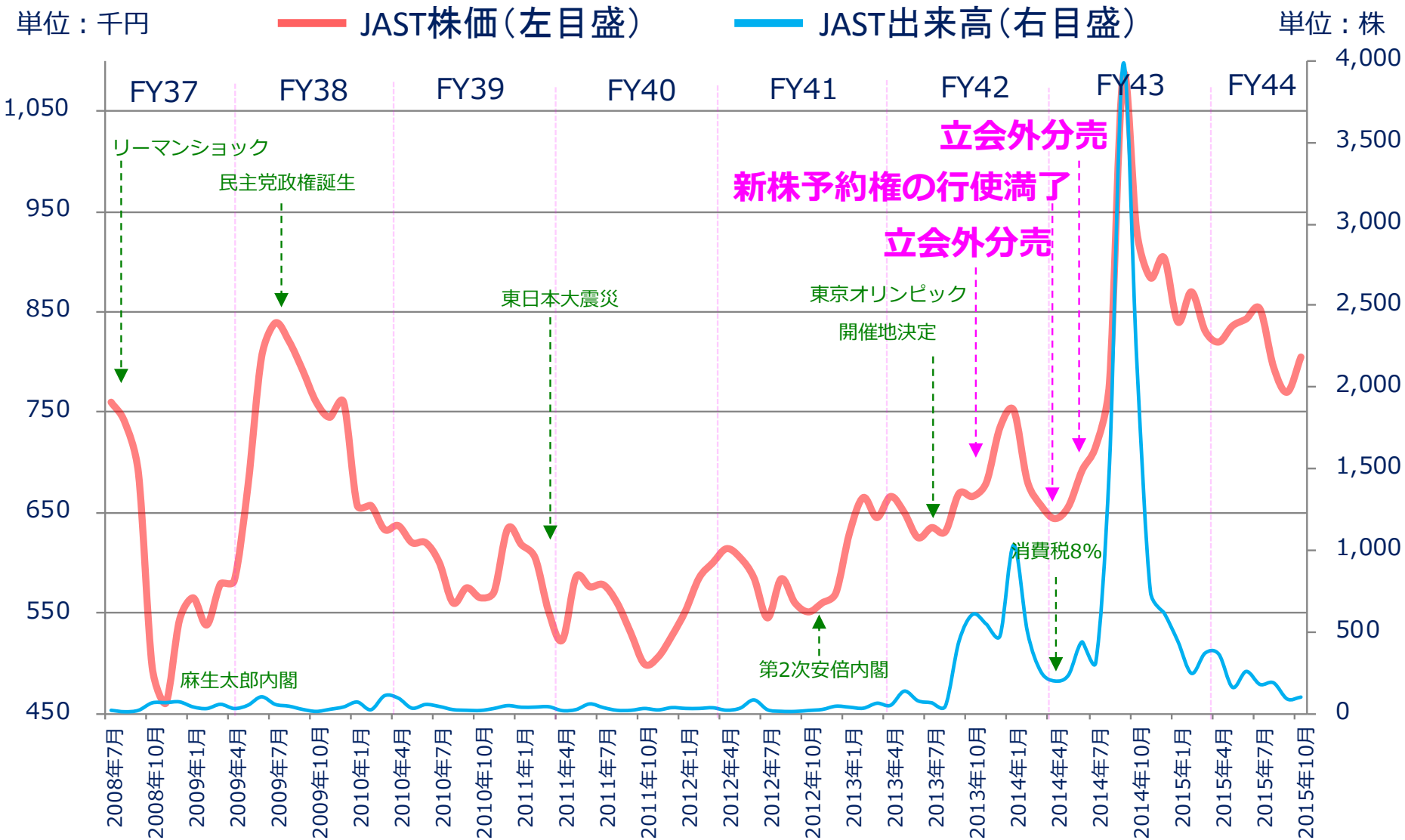
次世代製品の設計
及び
GAKUEN
中国版の開発

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4－6. キャッシュフローの推移

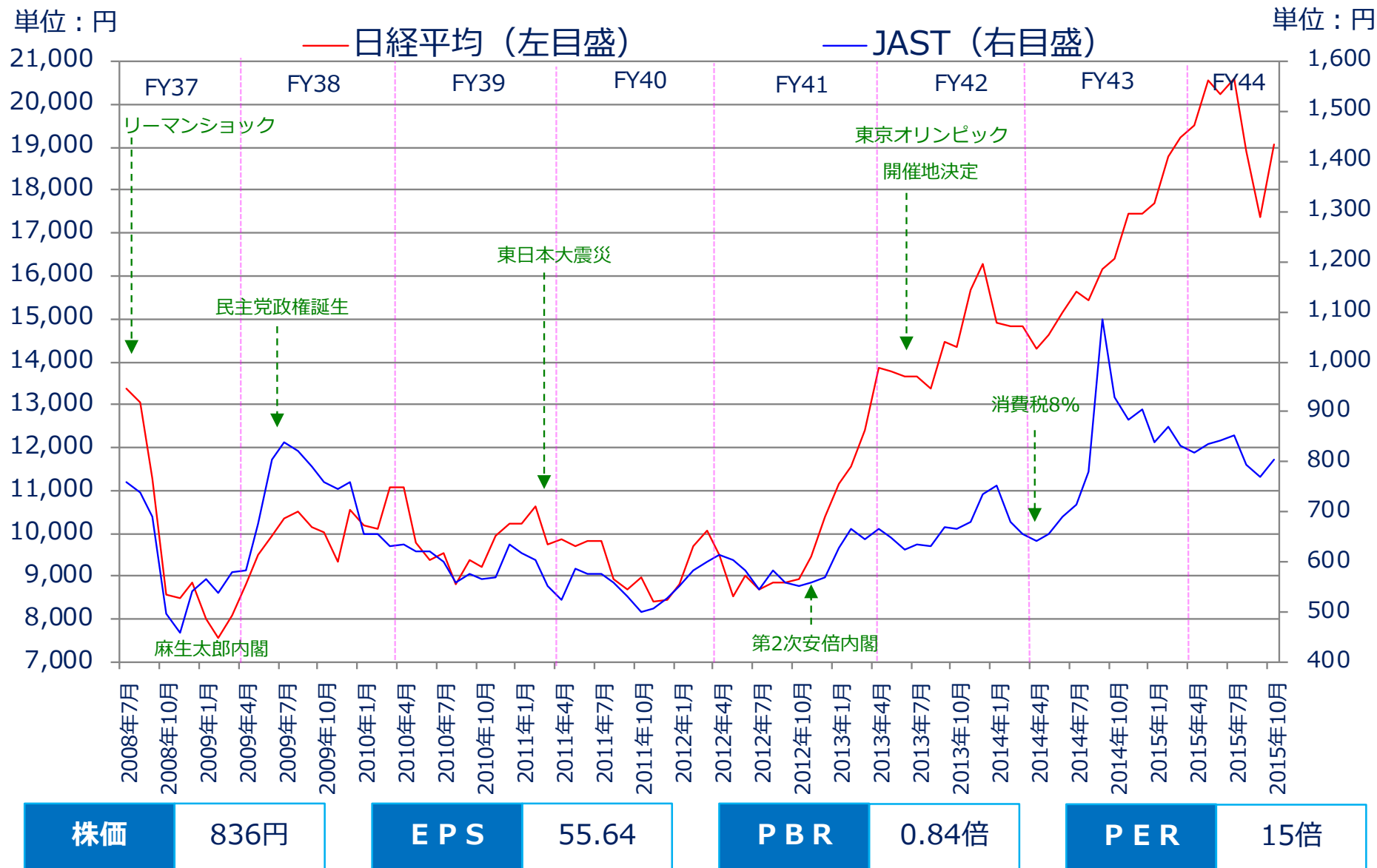
単位：百万円

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2015年 9月期	前年比
営業キャッシュ・フロー	181	393	▲204	660	864
投資キャッシュ・フロー	▲449	▲13	▲281	▲31	250
財務キャッシュ・フロー	▲145	149	▲102	300	402
現金及び現金同等物の期末残高	1,609	2,144	1,559	2,490	931

4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4-7. 株価の推移と流動施策



4. 2016年3月期 第2四半期の業績分析 4-8. 日経平均株価との相関



※2015年11月30日終値

※2016年3月期通期予想値

5. 2016年3月期の計画

5－1. 2016年3月期スローガン

5－4. 業績達成に向けた施策

5－2. 2016年3月期経営計画

5－5. 研究開発投資計画

5－3. 業績の予想

5－6. 配当方針

Go Beyond the Border

かつてない領域へ踏み出そう

Japan System Techniques Co., Ltd.

経営計画

→ 全社員がJ A S Tビジョン2020（中長期経営計画）の達成に向けて
リスクを恐れないチャレンジスピリッツで変革のアクションを起こす

→ 執行役員が全社視点で事業部運営をリードする体制を更に強く推し進める

→ 業界最上位の大手メーカー・ベンダーと常に勝負し名実ともに打ち勝つ実力を付ける

→ 次世代G A K U E Nパッケージをはじめとした文教ソリューションの厚みを増し
国内市場制覇と中国及びA S E A N市場での売上拡大を実現する

→ 自社ブランドビジネスのJ M I C S・B a n k N e oは
全社利益への貢献を拡大しつつ更なる新事業を生み出していく

→ グローバル展開では中国・A S E A N地域での売上・利益拡大
並びにグループ内外のアライアンスを強化する

→ グループ各社が個性を強みにした独自経営で自社ブランドの浸透・拡大を実現する

→ ミドル層の思い切った登用で新たな業務領域へのチャレンジを活性化する

→ 人事制度改革の実行と制度充実・社内システムの安定運用と継続改善等
社内環境の最適化に向けた改革を推進する

5. 2016年3月期の計画 5 - 3. 業績の予想

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	前年比
売上高 (百万円)	10,828	11,505	12,200	106%
営業利益 (百万円)	427 3.9%	363 3.2%	560 4.6%	154%
経常利益 (百万円)	474 4.4%	435 3.8%	620 5.1%	143%
当期純利益 (百万円)	278 2.6%	228 2.0%	292 2.4%	128%
一株当たり当期純利益 (円)	57.03	43.56	55.64	128%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 2016年3月期の計画 5-4. 業績達成に向けた施策 ①セグメント別施策



5. 2016年3月期の計画 5-4. 業績達成に向けた施策 ②フィジビリティ分析

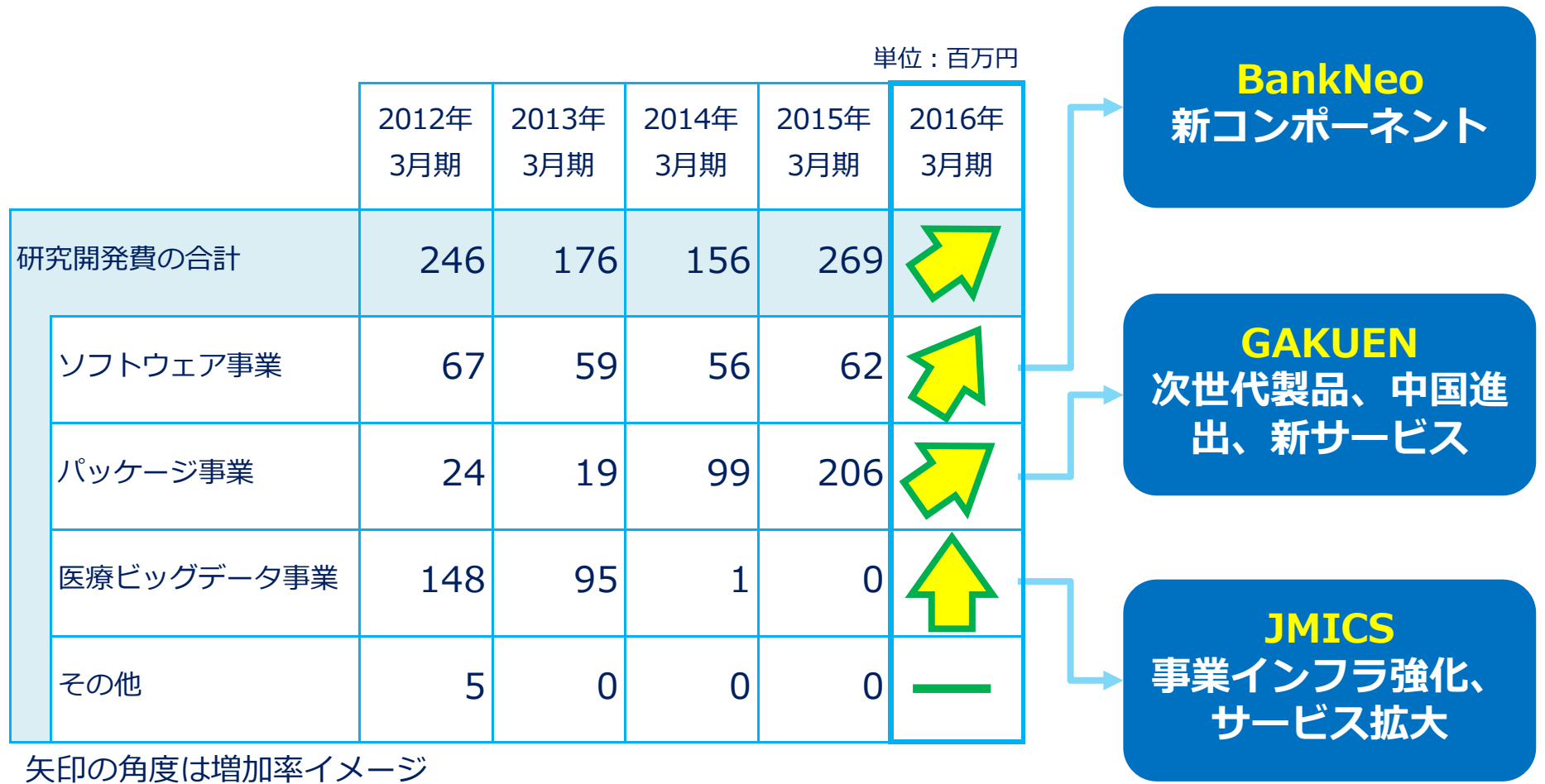
単位：百万円

	2014年3月期 下期実績	2015年3月期 下期実績	2016年3月期下期 (通期予想-2Q累計)	前年比	
				金額	比率
売上高	5,821	6,081	6,642	+561	+9%
営業利益	440 7.6%	285 4.7%	526 7.9%	+241	+85%
経常利益	453 7.8%	321 5.3%	567 8.5%	+246	+77%
当期純利益	292 5.0%	168 2.8%	250 3.8%	+82	+49%

%数値は対売上高比率

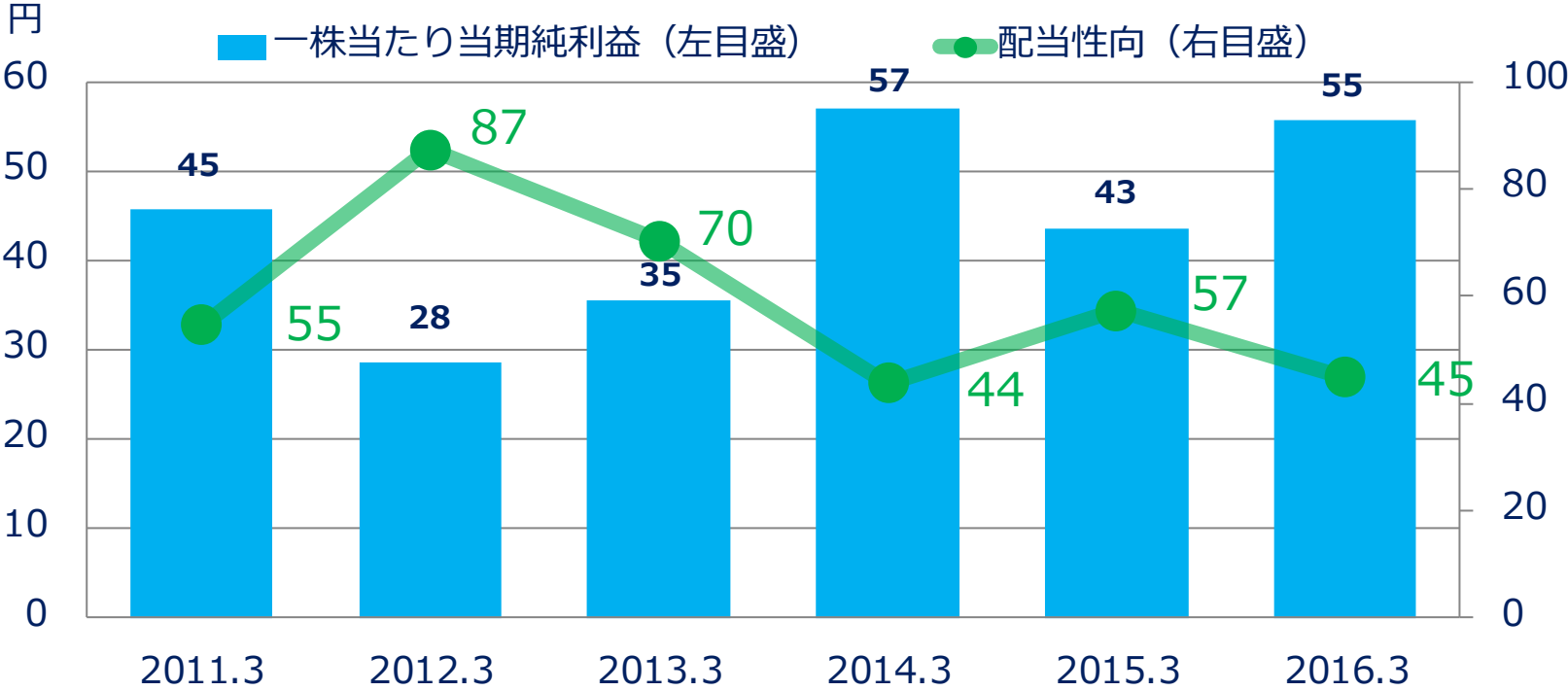
項目	金額〔億円〕
〔A〕主力事業（ソフト、パッケージ）の拡大と収益性向上	約 +4.6
〔B〕医療BD事業の成長（研究開発増加込み）	約 +0.3
〔C〕自社ブランド（GAKUEN・BankNeo）研究開発拡大	約 ▲1.9
〔D〕その他販管費等増	約 ▲0.6

研究開発投資の積極拡大を増収効果と収益性拡大で克服し増益実現



5. 2016年3月期の計画 5－6. 配当方針

		2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	前年差額
配当金の総額	百万円	119	130	131	+1
1株配当金	円	25	25	25	±0



配当方針

年度業績等を勘案し、普通配当25円とする予定
(配当利回り3.0%)

6. 中長期経営計画

6－1. 長期スローガン

6－4. 事業ポートフォリオの変革

6－2. 経営目標

6－5. 戦略課題

6－3. 業績推移の計画

6－6. その他トピックス

JUST VISION 2020

超一流への挑戦

Japan System Techniques Co., Ltd.

JAST VISION 2020

超一流への挑戦

売上高 200億円

経常利益 20億円

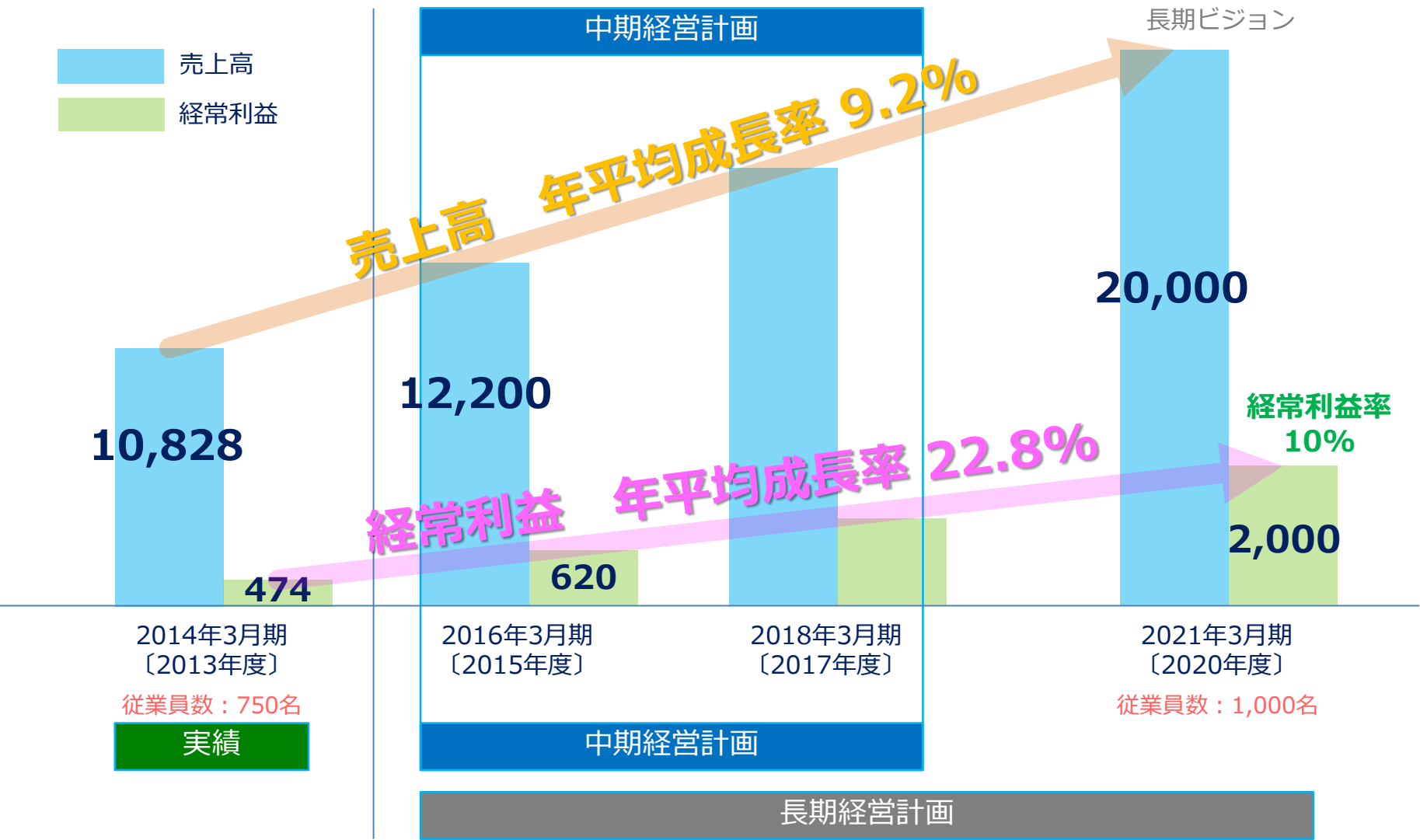
経常利益率 10%

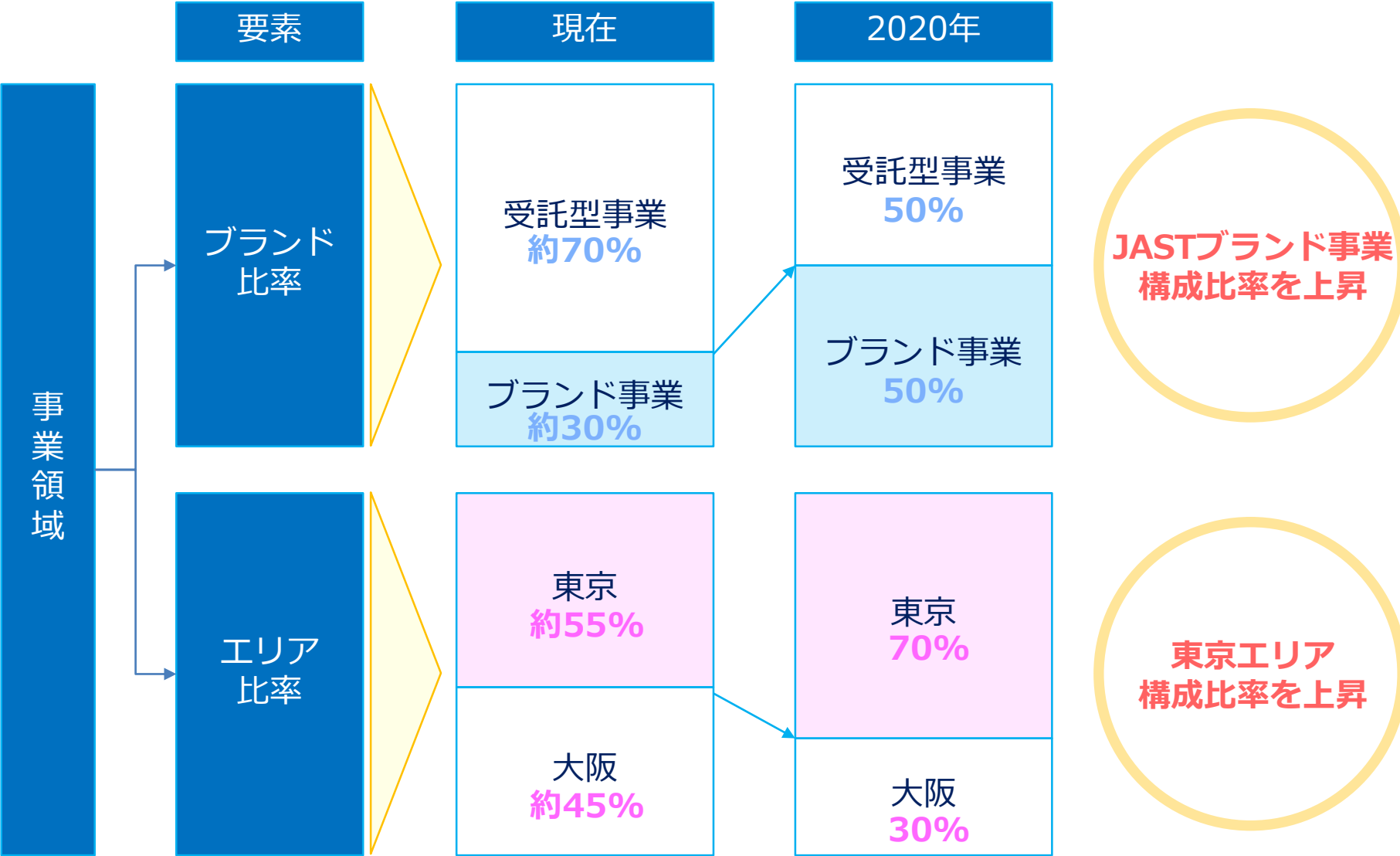
従業員 1,000名

顧客・技術・市場の変化に即応して長期的な成長を目指す

単位：百万円

2020年度 売上高 200億円 経常利益 20億円へ向けて





JUST VISION 2020

超一流への挑戦

自社ブランド拡大！

- * GAKUEN/BankNeo他
拡大・強化
- * 新ブランドの
継続的立ち上げ

基盤SI事業再成長！

- * 東京地区シフト
- * プライム化
- * コンサル・分析領域の
ビジネス拡大

常に最新技術を提供！

- * クラウド
- * ビッグデータ
- * マルチデバイス、他

海外展開！

- * GAKUEN輸出拡大
- * ASEAN及び他地域拡大
- * 海外売上10倍に

シナジー最大化！

- * 社内シナジー
- * グループ企業間シナジー
- * 同業/他業種との
アライアンス拡大、M&A

社内制度、資本政策！

- * ダイバーシティ推進
- * 人事制度改革
- * 流動性向上策
- * 株式市場

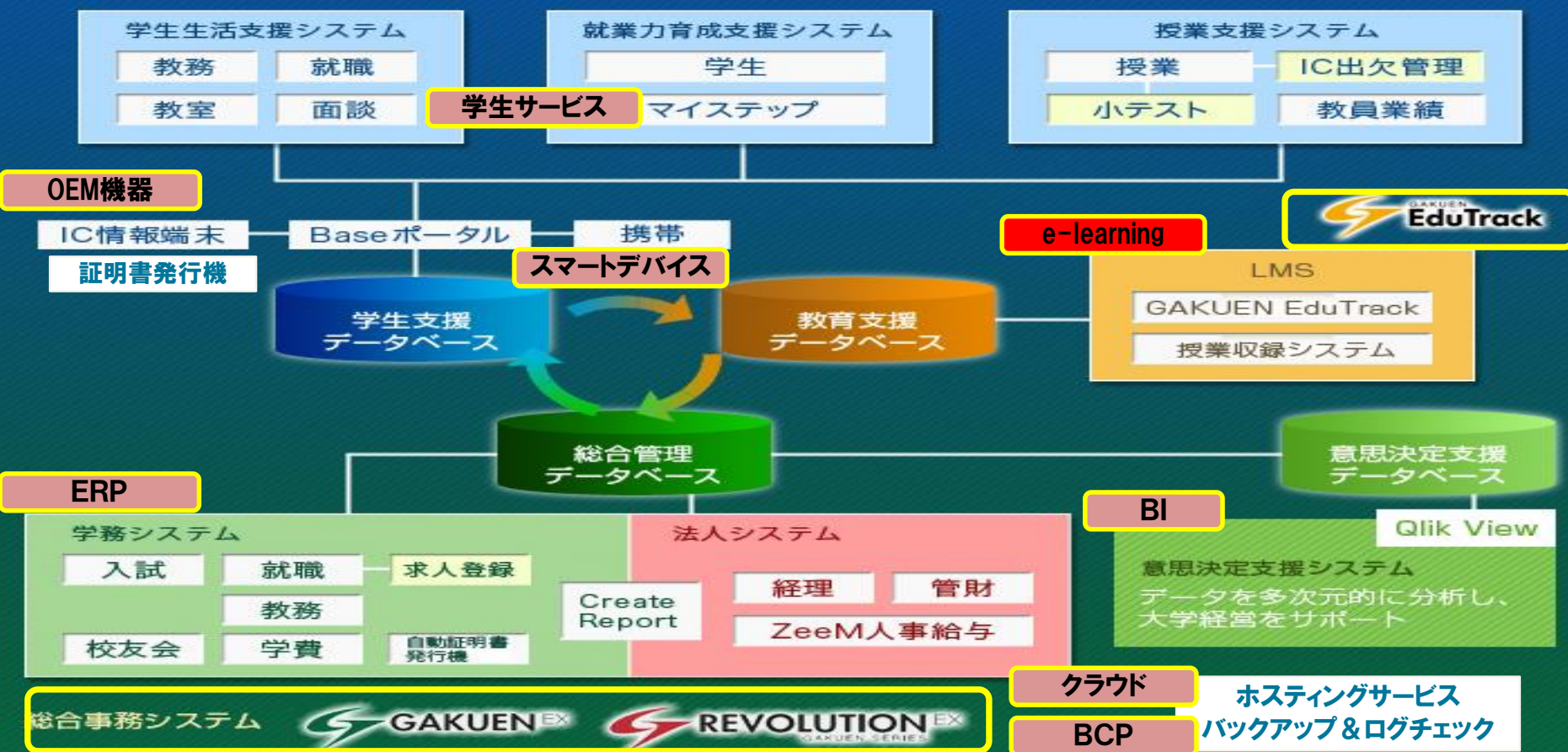
GAKUEN THE BEST PARTNER FOR UNIVERSITY

**既存コアサービス
パッケージ
受託開発
仕入販売**

webサービス学生支援システム



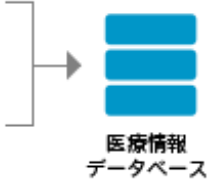
学内の情報を統合管理し、いつでもどこでもアクセスできるデジタルキャンパスを実現。
学生・教職員だけでなく社会・地域・OBへと大学サービスを広げます。



情報をスマートかつコンパクトに管理。情報把握と意思決定をスムーズにサポート

JMICS JAST MEDICAL INSURANCE CHECKING SYSTEM

【レセプト点検サービス】



【保健事業推進サービス】



医療ビッグデータの活用とICTの融合による保健事業改革

レセプト内容 点検サービス	医療情報 分析サービス	文書通知 サービス	Web通知 サービス
自治体 : 5 自治体 健康保険組合 : 5 5 組合 共済組合 : 3 組合 生活保護 : 4 自治体 自立支援 : 2 自治体 国民健康保険組合 : 2 組合	自治体 : 4 自治体 健康保険組合 : 3 7 組合 共済組合 : 6 組合 後期高齢者広域連合 : 1 自治体 国民健康保険組合 : 1 1 組合	自治体 : 3 自治体 健康保険組合 : 3 4 組合 共済組合 : 5 組合 後期高齢者広域連合 : 1 自治体 国民健康保険組合 : 1 組合	健康保険組合 : 2 組合

総保険者数 9 5 保険者

BankNeo FAST SOLUTION FOR BANKING

**CRM
SFA**

**融資
支援**

**経営
管理**

相続

ポータル モバイル連携機能
地図連携機能 顧客サイト
フロントコンプライアンス

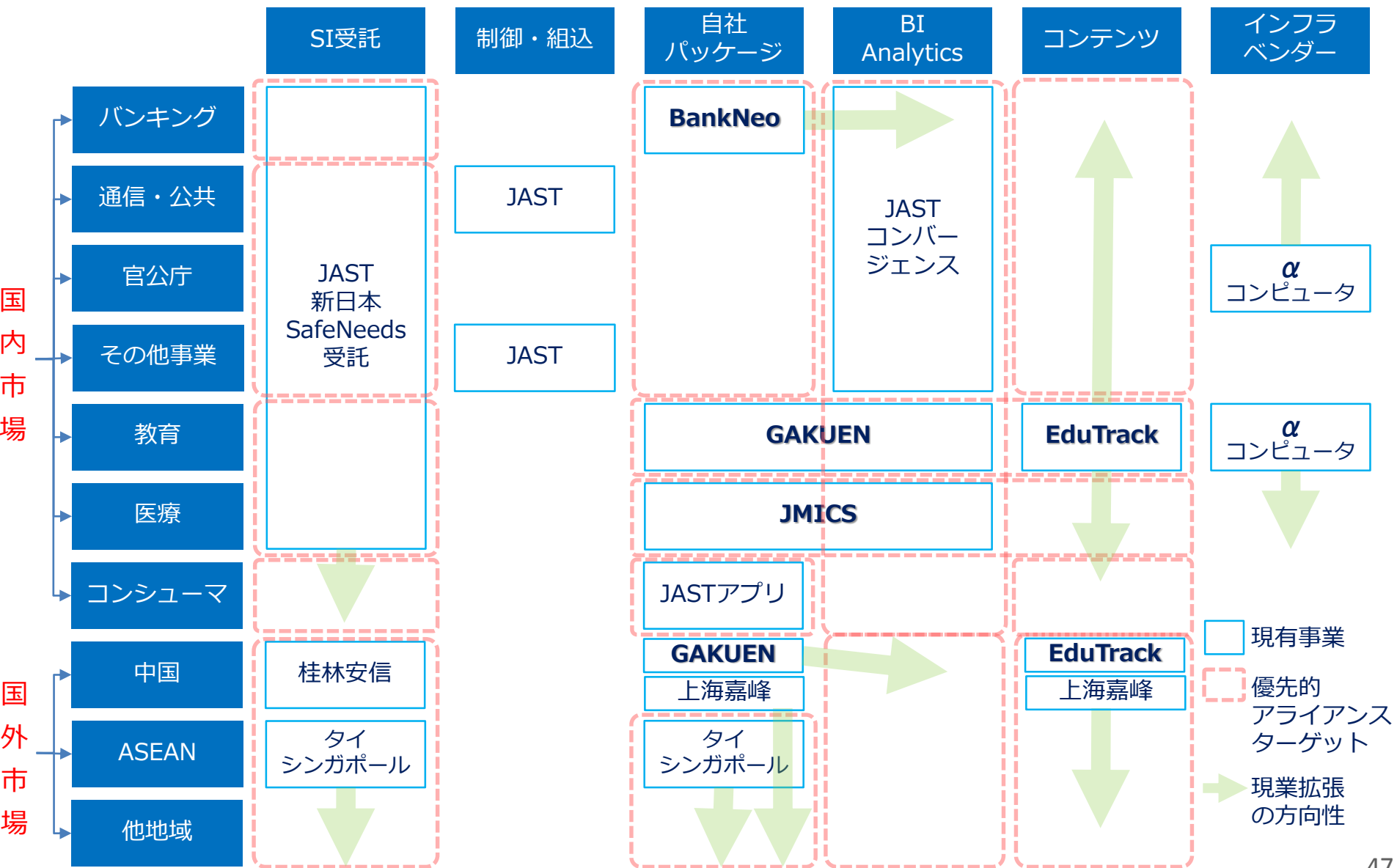
貸出審査 保安全管理
貸付審査 自己査定
債権管理 回覧ワークフロー

経営分析 手数料・事務量
原価計算 日計
個社別取引採算管理

手続き支援 案件進捗管理
相続税シミュレーション
顧客情報の一元管理



6. 中長期経営計画 6-6. その他トピックス_事業構成とアライアンス



不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。